

## 新生児医療連絡会 2024年第2回総会 議事録

日 時：2024年11月8日(金)17:30～19:00

会 場：ホテルブエナビスタ 3F グランデ（第2会場）

（議題中すべて敬称略）

・会員105名の出席を得て開催された。

### I. 報告事項

#### 1. 会員状況（2024年11月8日現在）（杉浦 弘）

1) 会員数 **479名** （前回473名 入会申請 7名、退会者 1名）

2) NICU代表 **246施設** （前回245施設）

3) 新入会 （2024/7/14～2024/11/7）

（申請日）

24/07/25 毛利 陽子 （横須賀市立うわまち病院 小児科）

24/10/08 藤山 聡 （筑波大学医学医療系）

24/10/18 小畑 慶輔 （淀川キリスト教病院 小児科）

24/10/22 設楽 佳彦 （東京大学医学部附属病院 小児科）

24/10/31 内海 孝法 （広島大学病院 小児科）

24/11/06 美馬 文 （淀川キリスト教病院 小児科）

24/11/06 日高 大介 （筑波大学附属病院 小児科）

・上記のとおり報告された。

#### 2. News Letter バックナンバー公開（荒堀 仁美）

直近5年間のNews Letterについて、PDF版を会員専用サイトに公開した。5年以上前のLetterについては目次を順次公開していく予定である。

・上記のとおり報告された。

#### 3. MFICU協議会公開シンポジウム開催の周知（杉浦 弘）

日 時：2024年11月17日(日)13:00～15:30

会 場：AP東京エアエス Aルーム（ハイブリッド開催）

・上記の開催が改めて告知された。

#### 4. 会員専用サイトでの会員検索（杉浦 弘）

会員専用サイトにて会員の氏名・所属先を検索できるようにすることが承認され、制作中であるが、その要件として、上記の旨を了承のうえ入会していただく必要がある。入会ページにその但し書きを盛り込むとともに「会員情報保護についての申し合わせ」を執行部で作成し掲載した。

なお、会員がマイページに自身で入力した所属先が表示される仕様を計画しており、会員には都度更新をお願いする。

- ・上記のとおり報告された。

## 5. アンケート実施における取り決め・明示（杉浦 弘）

アンケート依頼を受け付ける前提として以下の内容が役員会で審議されたことが報告された。

- ・研究代表者および依頼者が会員であること
- ・会員でなければ入会後に申請をお願いすること
- ・例外事項として、団体の場合は問わない。医師以外の職種からの申請であった場合は代表者が会員であればよい。

## 6. 入会承認手続きの変更（杉浦 弘）

会員・NICU代表を対象としたアンケート調査案件が増えており、依頼者は連絡会会員であることが要件となれば、入会承認を迅速に行う必要がある。従来は、年3回の役員会で入会を承認する手順であった。

- ・アンケート実施を目的とした入会の場合は、アンケート実施の諾否と入会の審査を通信役員会同時に行うことが報告された。通常の入会手順については従来どおり。

## 7. NICU マニュアル第6版の制作状況（徳久琢也・細野茂春）

以下のとおり制作状況が報告された。

- ・依頼原稿は完了。
- ・今後、編集責任者、共同編集者で校正作業開始予定。
- ・2025年4～7月の発行を目指す。

## 8. NICU代表の更新について（杉浦 弘）

### 1) 本会のNICU代表

- ・個人として入会し、NICU代表として登録されている。
- ・NICU代表が異動・退任する場合は後任を選出し、情報更新をお願いしたい。異動後に会員が不在となってしまう場合は、後任に状況を伝え、ご本人の了承を得て連絡会に入会いただき、NICU代表に登録いただく。
- ・異動した会員は、自身の会員情報を速やかに更新（NICU代表変更等）する。
- ・上記の事由により、異動の時期にはNICU代表の不在・重複が生じるケースが多い。3月の異動の時期には登録変更とあわせてNICU代表の正確な把握が連絡会として重要となる。
- ・年に一度、NICU代表一覧を都道府県代表に確認していただくこととした。

2) 各都道府県の「周産期母子医療センター」との照合

- ・総合・地域の医師がNICU代表として入会しているかを確認することも、役員会で審議した。
- ・現状では、総合周産期母子医療センターの9割方は会員が在席しNICU代表の登録があるが、地域周産期母子医療センターの割合はそこまでではなく、入会とNICU代表としての登録を促進することとした。

9. 診療報酬改訂前後のNICU調査について（落合正行）

- ・診療報酬改訂前後のNICU調査に関して、新生児医療連絡会としては学会（日本小児科学会、日本周産期・新生児医学会、日本新生児成育医学会）の調査をサポートする方針であったが、時間的な制約のため連絡会発の調査を行うこととなった。
- ・重要案件のため、提言の土台となる資料を迅速に準備する必要がある。現在4割程度の回答にとどまっており、回答率を上げるべくリマインドを行う。

10. 「新生児科医師勤務年数調査」（藤村正哲）

新生児臨床研究ネットワーク（NRNJ）の藤村先生・平野先生（大阪母子医療センター）より、「新生児医療連絡会連絡網を用いた調査依頼」を以下のとおりいただいた。

1) 目的

- ・極低出生体重児のアウトカムとしての退院時生命予後は新生児医療の主要な課題である。NICUに勤務する医師の勤務年数を要因のひとつとして注目して、退院時生命予後との関係を検討する。

2) 対象

- ・新生児診療に専従しているすべての医師（週40時間以上勤務の研修医を含める）

3) 調査項目

- ・新生児医療従事年数（現在勤務施設と過去に勤務した施設の合計年数、兼務を含める）

4) 手順

- ①調査用紙をNRNJに参加しているNICU代表に送付する。
- ③NICU設代表が調査用紙に記載し、調査依頼者に返送する。（郵送またはメール）

5) 解析の方法

- ①本調査で収集したデータは依頼者の管理するPCに限定して解析する。
- ②解析した結果は新生児医療連絡会会長、NRNJ理事長に報告し、その許可を得て公表する。
- ③公表は必要に応じて新生児医療連絡会、NRNJの会合および関連学会、専門医学誌で行う。

- ・倫理審査後、回答フォームなどが整い次第、新生児医療連絡会から総合周産期母子医療センターに所属するNICU代表宛に調査を依頼することが報告された。

#### 11. 今後の予定 (杉浦 弘)

- 1) 2025年第1回役員会 4月19日(土) 名古屋  
(第128回日本小児科学会学術集会2日目)
- 2) 2025年第2回役員会・第1回総会 7月14日(月) 大阪  
(第61回日本周産期・新生児医学会学術集会2日目)
- 3) 2025年第3回役員会・第2回総会 11月14日(金) 横浜  
(第69回日本新生児成育医学会・学術集会2日目)

- ・上記の予定を共有した。

#### III. 総会講演

日 時：11月8日(金) 18:00～18:45 (総会は17:30～19:00)

場 所：ホテルブエナビスタ 3階 第2会場

講 演：「周産期医療体制と最近の話題 (仮題)」

講 師：榊原 康平 先生

(厚生労働省 医政局 災害等緊急時医療・周産期医療等対策室

小児・周産期医療専門官)